

北海之光

2月号 北海道教区報

安らかに信頼している

ことにこそ力がある

イザヤ書30章15節

発行所 北海の光社

001-0015 札幌市北区北15条西5丁目1-12

日本聖公会北海道教区事務所

電話 011-717-8181

FAX 011-736-8377

E-mail:hikari@nssk-hokkaido.jp

http://www.nssk-hokkaido.jp

発行人 植松 誠

星を見る人は

深川聖三一教会
留萌キリスト教会協働牧師

司祭 ヘレン 木村 夕子

早朝からの鮭釣に備えてテ

ントを張ったオホーツク海側の
キャンプ場で目を上げる

と、水平線の際から空一面に

星がぎゅーと詰まっていた。
あまりの数の多さに息を

呑んだ。

二〇一八年九月六日、午前
三時八分に北海道胆振東部を
襲った地震で、道内全域が停
電したブラックアウトに襲わ
れたあの日の夜、自宅の玄関
先で天の川を見た。震源地で
は大惨事であることを案じな

がら、逃れることの叶わな

い闇の中で空一面の星を見

た。星を見るより他に出来る
こと、したいことがなかった

ように思う。電気エネルギー
の恩恵を遮断され、闇の中に
置かれたあの時に見た星空は

今、街の明りに消える。

占星術の学者らがユダヤ人

の王の誕生を星によって知

り、東の国からはるばる拜み

にやってくる。一方エルサレ

ムではヘロデ王を始めユダヤ

の上層部でも気付く者はな

かった。すでに神の救い主が

到来しているのに、自らを救

いの器と自負する者らが知り

得なかったことを、外国の学

者らが発見していたことには
驚きを感じる。何故だったの
か。

星を見る人は闇に身を置く

人であり、闇を知る人であ

る。闇の中でこそ、星の光が

得られる。神のなざる救いを
求める人は、昼日中の一切の
業から離れて深夜のように自
らを静め、星の光に目を凝ら

す如く祈ることが必要だろ
う。それと同時に、神の救い
の道を歩もうとするなら、こ
の世の闇の中に、あるいは闇
の時代の中に恐れず身を置く
ことも、闇の中にいるという
自己認識も不可欠なのではな
いか。

降誕日の直前、ある人から

連絡を受けた。社会を震撼さ

せた事件を引き起こした若い

犯人をめぐる報道を受けて、

心に抱えた苦しい心境の吐露

だった。さらにこの人は、祈

りの言葉をつないで、孤独な

罪びとの救いのためにキリス

トの御名によって祈ったの

だ。私は涙が出るほどの感動
を覚えた。おそらく日本中の
大多数が一瞬見ただけで通り
過ぎるであろう孤独な若者の
前で足を止め、自分の子ども
の姿を重ねて見つめ、心を乱
しながら祈る人。逃れられな
い闇に置かれた者が目にする
星の輝きとは、この人のよう
な存在ではないだろうか。

キリストの救いを求める者

の一人として、闇の時代に歩
む勇気を与えられたと感じて
いる。そして、この祈りの人
と共に、この祈りの成就と共
に、いつの日にか主の食卓を
囲む時が来ることを、私は祈
る。





「心の窓をひらけ」

福音と私(二三四)

今、なぜ、私はキリスト者として生きるのか

札幌キリスト教会信徒

ヴァレンタイン 和田 啓 佑



好きな聖句

「人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。あなたがたは自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。」

マタイによる福音書

第七章一節から三節

私が聖書に興味を持ったのは、自分が憧れを抱いたマルティン・ルターや新島襄といった偉業を成し遂げた偉人がクリスチャンだったということを知り、聖書を知ること
で過去の先駆者たちの礎にしていた道をたどれるのではと思ったのがきっかけでした。
それから、大学生になってからKGG(キリスト者学生

会)に入り聖書の御言葉に触れる機会が増えました。週に一回という少ない時間ではありますが、皆で集まって聖書研究で聖書の登場人物の心情やなぜこの人はこんな行動をとったのかといったことを歴史的な背景や自分たちが思う意見などをお互いに意見しあつていくと、自分が見ていた視点とは違う角度で聖書が見られるのでとても面白くて内容の深い時間を過ごせています。KGGに入ってからキリスト教という宗教を最初に深く知ることが出来たと思います。聖書の聖句は心を掴む御言葉がたくさんあつて、迷ったときには前に進む原動力と着実に答えに導いてくれる力があると思つています。誰かのために祈ることや祈つ

てくれる人がいることをキリスト教を通して初めて知りました。KGGに通つてからしばらくしてから、主事の方から「そんなに聖書に興味があるなら教会に行つてみたら」と言われてそれをきっかけにして教会に通い始めました。

と想つてしまったため、一体偶像というのがどこからどこまでが偶像なのかわからなくなつてしまったので改めていろんな教派の教会を巡つて通う教会を新たに探すことを決めました。

り、私の教父母である工藤マナさんがイギリスのシスターになるためにイギリスの修道院へと旅立って行きました。イギリスの宣教師の方とは今でも連絡を取り合つていて、互いに祈り課題を交換してお互いに祈り合つています。

日曜日、週に一回御言葉と牧師さんの説教を聞くことで新しい引き出しが増えて日々の生活の糧になるのと同時に、週ごとに日々のことを思い返し御言葉を噛み締める機会ができ日々新鮮な気持ちで過ごすことができています。ただ、教会へ通つてしばらくしてから「○○な人は罪だ。」といった牧師さんの説教に賛同することが出来なかつたというのと、像やロザリオを使つても自分の頭の中でロザリオや像ではなく頭の中で神様を想いながら祈つてい

るのであれば問題ないのではと思うのと、「聖書では節度ある飲酒はいいと言っているのに酒を飲んではいけない」と独自の考えを主張し押し付けてるのは偶像なのではないか

最後に前述で個人的な意見を述べましたが、今日においてはたくさんの方々が互いに祈り課題を交換してお互いに祈り合つています。

教会の人はとても暖かく受け入れてくださり、二〇一九年の四月に洗礼を受け本格的に札幌キリスト教会の信徒として信仰生活をしていくことを決めました。それからしばらくたって仲のいいOMF(国際福音宣教会)の宣教師の方がイギリスへと帰

ていないためわからないことがたくさんあり、いろんなことが論争されていますが「神様の思想を人間がはつきりと理解することは不可能であり人を裁くのは神様がなすべきことである。」という考えの下、この世に生きる人々を自分の秤で量るのではなく無条件に人を愛し恵みと愛にあふれた生活を目指すことが最終的な目標だと考えています。

感謝 北海の光献金(敬称略)

常置委員会報告

第三回 一月八日

《協議事項》

- 一、信徒奉仕者推挙の件
- ・各教会より提出された推薦を承認した。
- 二、今期の役員選任の件

・未決定者について引き続き人選を進めることとした。

三、教区宣教一五〇周年の実行委員選出に関する件

・礼拝・行事・記念誌の各分野のタスクについて協議すると共に、実行委員予定者の人選を行った。

四、植松主教ランベス会議出席に伴う件

・会議出席に伴う経費を賄うために募金を実施する事とした。

五、教区事務所人事の件

・新年度の体制について協議・確認した。

六、聖公会神学院「信徒の奉仕・召命コース」の件

・直井岳さん、尾関敏明さん、二名の受講希望を確認した。

七、青年担当者会出席の件

・永谷亮司祭の出席を承認した。

八、研修補助の件

・永谷亮司祭の聖公会神学院特別集中講座の参加出席に伴う費用の一部を補助することとした。

小貫 ツマ (東京) 大野和哥子 (大阪)
ペレスのぞみ (海外) 山影 静子 (大阪)



主教室より

三年前の教区礼拝の折、私の主教按手二〇周年を祝って、全員で「暗闇行くとき」には「聖歌集四七六番」を歌ってくださいました。私の大好きな聖歌であることを多くの方がご存知でした。またこの聖歌を「北の果てなる氷の山」に代わる新たな「北海道教区の聖歌」とまでおっしゃる方もあります。

この聖歌は、現在の聖歌集が作られる過程で、各教会に送られてきた試用聖歌の一つでした。ある日曜日、室蘭聖マタイ教会に巡回した際、礼拝の始まる前に、オーガニストのH姉が、主教さん、今日、この聖歌を歌います」と言って持って

こられたのが、この「暗闇行くときには」でした。私にとって、

一度も見たこともない聖歌。「えっ? こんな聖歌、ぼく知らないよ」と言う私に、「今日の主教さんの巡回礼拝のためにこれを歌おうと、みんなですつと練習してきました」というH姉の言葉に、私は「そうでしたか、それでは歌いましょう」と。

礼拝の中で、この聖歌を歌い始めました。美しい歌いやすいメロディです。でも、私は初めて歌うこの聖歌に胸がいっぱいになりました。「暗闇行くときには」主イエスが示された輝く星を求め、光に顔向けしよう。二節は「救いのない苦しみ 行く手をかさぐくとも 主のみ手に支えられ

光もとめ歩もう」。涙で私は声が出ませんでした。かつての繁栄と活気は街から消え、教会は何年も定住教役者がなく、高齢化が進んでいます。まさにその教会の現実を物語っている聖歌でした。その中で、少ない信徒たちがこの聖歌を必死に練習してきたのです。この聖歌こそが、この教会の信徒たちの叫びであり、祈りであり、また希望の源だったのです。

それ以来、私はこの聖歌を歌い続けています。また、室蘭で初めてこの聖歌を歌った時の感動を人々に話してきました。マリAH姉は毎主日熱心にオーガニストの奉仕を務め、この一月一日、六〇歳で天に召されていきました。

主教 ナタナエル 植松 誠

「神学生を囲む会」開催のご案内

日時 二〇二〇年三月三日(日) 一七:〇〇

場所 教区会館 八角堂

会費 五〇〇円 (大学生以下無料)

皆様ふるってご参加下さい。

神学生養成委員会 委員長 山崎典美

十 教区逝去教役者 記念聖餐式

三月一日(水)

午前一〇時三〇分

於 主教座聖堂

次の方々を覚えて祈ります。

司祭 遠藤 喬

伝道師 水科 五郎

司祭 ベヴァレー・D・タッカー

二〇〇七年三月一日

伝道師 西村 ヒサ

一九二三年三月一日

伝道師 フローレンス・E・カーター

一九七〇年三月一日

司祭 ウィリアム・A・リーブ

一九六六年三月一日

司祭 吉川 孝

二〇一二年三月一日

司祭 岸本 隆一

一九五三年三月一日

伝道師 グレース・S・ステイブリン

一九四二年三月一日

伝道師 中村 熊次郎

一九四九年三月一日

司祭 ジョージ・C・ニベン

一九五一年三月一日

伝道師 H・アンデレス

一九一八年三月一日

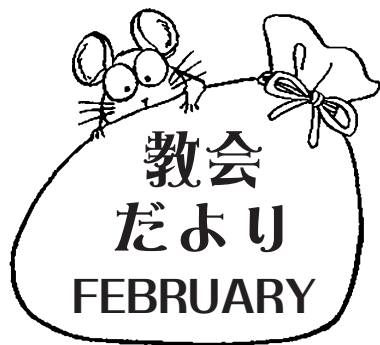
一九一八年三月一日

2020年度 教区役員一覧表

日本聖公会 北海道教区
2020年1月1日現在

委員(部)会名	選出者	長	委員・部員名
常置委員会	教区会	司祭 大町信也	司祭 広谷和文、司祭 下澤 昌、尾関敏明(3月まで)、沖田京子、大友 宣、矢部幸子(4月から)
教区審判委員	教区会	教区主教	司祭 松井新世、司祭 木村夕子、沖田京子、松下孝広
会計監査委員	常置委員会	古川義則	木島嘉子
教区ハラスメント防止委員会	常置委員会	志賀直信	司祭 木村夕子、桑田正博、山本雅之
管財委員会	常置委員会	橋本知樹	
建築融資金委員会	常置委員会	久末隼一	教区事務所主事、財政部長、財政部チャプレン
I T 委員会	常置委員会	司祭 永谷 亮	司祭 吉野暁生、横山光紀
北海道 M T S	常置委員会	司祭 吉野暁生	司祭 大町信也、柴山富美子、桑田正博
礼拝委員会	常置委員会	司祭 松井新世	丸山悦子、鈴木かほる
教区事務所	常置委員会	主事 司祭 永谷 亮	副主事 金内淳子、書記 高橋 愛(4月から)
宣教活動推進部	常置委員会	司祭 吉野暁生	司祭 飯野正行、司祭 池田 亨、司祭 大町信也、司祭 木村夕子、司祭 永谷 亮、司祭 広谷和文、司祭 松井新世、執事 上平 更、佐藤忠志、福富牧子、宮本道子、土橋芳美、城石梨奈、丸山悦子、矢部幸子、山本修嗣、山崎典美、高橋 愛
財政部	常置委員会	(人選中)	橋本知樹、松下孝広、横山光紀
神学生養成委員会	常置委員会	山崎典美	服部幸子、今村 隆、夏堀ヒロ子、横山弥生
歴史文書保管委員会	常置委員会	下田尊久	司祭 池田 亨、山本修嗣、佐藤さつき
北海の光編集委員会	常置委員会	司祭 池田 亨	丹 政清、佐藤さつき、山崎恒子、久慈吉雄、吉谷かおる
教区礼拝実行委員会	常置委員会	横山光紀	
教区宣教150年実行委員会	常置委員会		司祭 木村夕子、司祭 吉野暁生、丸山悦子、大友 宣、高橋 愛、教区事務所主事
分区長 道央		司祭 大町信也	
分区長 道南		司祭 吉野暁生	
分区長 道東		司祭 松井新世	
分区長 道北		司祭 広谷和文	
聖職養成委員	教区主教	司祭 大町信也	司祭 下澤 昌
聖職試験委員	教区主教	司祭 下澤 昌	司祭 広谷和文、司祭 池田 亨、司祭 大町信也
教役者子弟育英資金	教区主教	教区主教	財政部長、教区事務所主事、三溝千春
主教座聖堂		教区主教	常置委員、札幌キリスト教会牧師、同教会委員会

委員(部)会名		選出者	長	委員・部員名
チャプレン教区婦人会		教区主教	司祭 池田 享	
〃 財 政 部			司祭 永谷 亮	
〃 青 少 年			司祭 永谷 亮	
〃 G F S			司祭 木村夕子	
管区関係	日本聖公会代議員	教区会		司祭 大町信也、司祭 永谷 亮、 大友 宣、矢部幸子
	日本聖公会常議員	管区総会		主教 植松 誠、司祭 大町信也(総会まで)
	祈祷書改正委員会	常議員会		司祭 永谷 亮
	女性デスク			吉谷かおる
	日本盲人キリスト教伝道協議会			司祭 永谷 亮(NCC派遣聖公会選出理事)
	教理礼拝組織調査員	主教会		司祭 広谷和文
	管区審判廷	管区総会		司祭 下澤 昌
	聖公会保育連盟	教区主教		矢部幸子
管区諸委員会教区連絡担当者	青年委員会	常置委員会	執事 上平 更	
	正義と平和委員会		司祭 大町信也	※原発問題プロジェクト 尾関敏明
	人権問題担当者		司祭 広谷和文	
教区関係団体	NPO法人ファミリーサポート聖十字ひろば		理事長 大友正幸	
	社会福祉法人 聖公会北海道福祉会		理事長 植松 誠	理事 大友正幸、下澤 昌、山崎恒子、 矢部幸子、高橋久美子 監事 山崎典美、高田鎮通
	学校法人 聖公会北海道学園		理事長 植松 誠	理事 渡部良子、鈴木典明、阿部芳克、 大友正幸、遠藤淳治、広谷和文 監事 能登 晟、鏡谷光司
教区協力団体	教区婦人会		会 長 神林直子	
	教区 G F S		支部長 小澤暢子	
	マルタ会		主事 司祭 永谷 亮	高橋 愛(4月から)
他協力団体	ホレンコ幹事		司祭 池田 享、横山由紀子、須田 潔	
	北海道外キ連		司祭 大町信也	
	刑務所教誨師		司祭 藤井八郎、司祭 飯野正行、司祭 松井新世、司祭 吉野暁生、 司祭 永谷 亮	



▽旭川聖マルコ教会

元旦礼拝に始まり今年の教会が動き出しました。また五日は持ち寄り新年会でマルコ食堂も開店しました。

聖書輪読会は、一二月に購入した「聖書協会共同訳」を用いて「サムエル記上」より再開しました。

二月二日の堅信受領者総会へ向け、会計監査の実施、そして、資料の印刷製本と開催に向け準備も整いました。有意義な総会になりますよう。

エレミヤ能勢仁和さん、神戸聖ミカエル教会より教籍が送られてきました。歓迎です。

保育園では、一月の誕生会に野村学さんが手品をしてくださり、子どもたちが大喜び

で楽しんだ様子です。

▽岩見沢聖十字教会

元旦、二名の兄弟姉妹で、「主イエス命名の日」礼拝をお捧げする。礼拝堂には確かに主がいらっしゃいました。クリスマス献金の一部を市立図書館、グレースの会、ホレンコ、日赤へお捧げする。

各機関のお働きを祈る。二〇日、幼稚園始業日。賑わいが戻る。今シーズンは暖冬少雪の為、思う存分雪遊びが出来ない状況が続く。それでも園児達は元氣一杯です。

二六日、現在堅信受領者総会。過年度の恵みには感謝。新年度は主の業に期待する。議題は全て承認される。

▽釧路聖パウロ教会・
▽厚岸聖オーガスチン教会
新年五日、和装の方もおられ、お正月らしい雰囲気。礼拝の後、監査委員二名にて会計監査。会計の春田佳恵さんの労苦に感謝です。

一二日、石塚顕治さん来会、力強い歌声が礼拝堂に響きわたる。お誕生会後の教会

委員会では、委員の担当部と今年の予定等確認する。二六日、一階ホールで礼拝後、堅信受領者総会、各部報告後、厚岸教会の今後について話し合う。祈りの場として残したい等の思いが語られる。

オリブ会は、代表の荒井めぐみさん、会計の氏家節子さんと共に、三名の入会者もあり、ワンチームで喜びの内にご奉仕が出来ますように。主に感謝。

▽小樽聖公会
雪がほとんどない新年を迎え、五日の主日礼拝では新年の祈りをともにし、礼拝後にはいつもより品数の多い愛餐会で交わりを深めました。

一二日と一九日はみ言葉の礼拝。いつも信徒による司式と説教代読で礼拝が守られています。

去年まではかなり気温が低いときにしか心配していなかった集会所の台所の排水パイプが凍結することもあり、これも少雪のせいなのか、地面が例年より冷えているのかもし

れません。また、新型コロナウイルスの影響なのか、行き交うアジアからの旅行者が目に見えて少ないように感じます。

▽新冠聖フランシス教会
内海司祭は年末年始を札幌の病院にて過ごし、無事一月三日に退院しました。五日の日曜日の午後、静内の病院に奥田さん夫妻と溝尾秀子さんを訪問し、祈りをもって塗油を行いました。本年最初の礼拝は一月一二日(顕現後第一・主イエス洗礼の日)の聖餐式で、今年も主のみ手の中を歩むことが出来ますようにと、心から祈りました。

一月二六日の礼拝の後、現在堅信受領者総会が開催され、全ての報告・協議事項が受理されました。奥田貞子さん無事退院され、感謝です。

▽帯広聖公会
寒さも厳しくなり、教会でも水道管関係のトラブルが生じていますが、幸い今のところ深刻な問題には至っていません。

五日、み言葉の礼拝。
一二日、聖餐式と教会委員会。管理牧師の永谷先生より「聖公会の教会委員として心に留めておきたいこと」という資料が示されました。映画「福島は語る」の上映が提案・検討されています。

一九日、み言葉の礼拝。
二五日、婦人会新年会。
二六日、聖餐式。
きたる二月九日には堅信受領者総会が予定されています。

▽稚内聖公会
三〇日、一月の礼拝。午前一〇時礼拝堂のストーブに火を点ける。火力最大にして三時間。まだ寒い。本原さんが雪を漕いでやって来る。礼拝が始まった。この日稚内はこの冬最大の暴風雪。礼拝堂は吹き付ける風雪でガタガタと鳴り続ける。「嵐の中の教会」とはこのことか。み言葉と聖餐の恵みに心だけは暖められ、この地に生きる人々の幸せを祈った。身体が吹き飛ばされないようバス停にしがみ

つきながらバスを待つ。列車は遅れに遅れ、かろうじて真夜中旭川に帰着。主に感謝!

▽函館聖ヨハネ教会

一月一日、主イエス命名日、函館は積雪の少ない穏やかな新年を迎える。五日、新旧教会委員と宣教部による新年会が行われ、楽しい時を分かちあう。一八日、総会に向けての資料印刷、製本。二五日、宣教部が開かれ、大斎節の持ち方、今年の教会活動などを話し合う。

二六日、現在堅信受領者総会が行われる。第一部に道南福祉ねつとの西本理事長を講師としてお招きし「地域と共に歩む教会」を主題に、多様性の現代社会の中での人との関わり、神様の愛の伝え方を学ぶ時間を持った。地域に愛される教会として、宣教と伝道に、益々意欲的に取り組んでゆきたい。

▽札幌キリスト教会

一月五日、翌日の顕現日を覚え、愛餐会の中で、オリブ有志によるミュージカル

形式の聖劇「男たちの聖夜」が演じられ、三博士の来訪を祝いました。同日の午後には混声合唱団コルデ・デル・クオーレの皆さんによるコンサートが行われ、約二〇〇名の聴衆に感動を与えてくださいました。一九日、婦人会総会と新年のお楽しみ会が行われました。二六日、主日礼拝後に堅信受領者総会が開催され決算・予算の他、各部からの報告と今年度の抱負などが話し合われました。

▽札幌聖ミカエル教会

元日、主イエス命名の日をともに守り、一年の歩みを始める。小雪で大人は助かっています。三学期が始まった幼稚園では大きな雪山ができず残念。一八〜一九日、日曜学校の雪中運動会・お泊まり会を三八名で行う。普段は遠ざかっている、お泊まり会が大好きで集まる子が多数。不思議です。二六日、堅信受領者総会を行う。教会の課題は多々ありますが、今年の献堂六〇年、来年の宣教七〇年

が重点項目となりそうです。二五日、ペテロ三澤直樹さん(三澤司祭(長男))が五二歳で逝去されました。改めて魂の光明と平安をお祈りいたします。

▽新札幌聖ニコラス教会

横山司祭と共に元旦礼拝をお捧げして新年を迎える。新年度の教会委員の顔ぶれは昨年同様となり、今年も続けて当教会の前進のためご協力いただけることに感謝し歓迎する。新メンバーでの委員会一回目は二月の総会に向けての準備と昨年度の反省を中心に行う。礼拝堂外壁塗装の実施を一つの課題として、昨年試みてきた新たな教会と地域との交わりの方法をさらに定着していくよう検討。教会奉仕についても新たな協力体制を模索中。

▽平取聖公会

平取のクリスマス礼拝が二月二四日の夜に捧げられ翌日に、内海牧師は腫瘍切除のために入院し手術をされました。そのためお正月を挟んだ二週の礼拝は休まざるを得ませんでした。一月の一二日にお元気な姿で聖餐式に臨まれた牧師は力強い説教で私たちを励まして下さいました。この三月で牧師は九一〇年間私たちを導いてくれましたし、チャプレンとしてバチラー保育園児からの人気は抜群です。子どもたちから伝わった「チャプレン」親や祖父母から町中に広がっています。嬉しいことですね。

▽網走聖ペテロ教会

元日、飯野司祭聖餐式。朝迄教会の十字架と松はライトアップされました。五日み言葉の礼拝後婦人会。会計報告があり、新しい輪読の本がローワン・ウィリアムズ著『信頼のしるし』に決まりました。一二日は礼拝後お雑煮等食べ委員会。会計決算・予算案の説明があり検討しました。一九日は証当番の司祭夫人まゆみさんが、新しい年に思うことの題で語られました。飯野司祭は二九日に入院し、三二日午に手術を受けられ

れます。司祭の健康と回復を、信徒一同お祈りしています。

▽有珠聖公会

一月二五日の午後、今年最初の聖餐式。使徒聖パウロ回心日にあたり、聖パウロの生涯とみ言葉を礼拝の中で、たどりましました。また、当教会との交わりの中でも奏楽でご奉仕下さった白藤久枝さんの逝去を覚え、み国での平安を祈りました。

▽留萌キリスト教会

新しい年を迎えました。小さな群れは全員そろって一年を重ねまして、教会の総会、婦人会総会を行うことが出来ました。約二五年間に渡り会計の奉仕をしてくださった千葉雅子さんより引退願いの申し出があり、一同感謝の気持ちで了承。しかし交代選手はおらず、

「とりあえず」の処置で対処することになりました。

婦人会では金岩美穂子さんは九〇歳の坂を登りながら会長を続行。命の限りの奉仕が文字通りに献げられておりますことに感謝です。

▽室蘭聖マタイ教会

一月五日降誕後第二主日、み言葉の礼拝を持って教会活動が開始されました。第二主日は吉野司祭により聖餐式が守られました。今年は雪が少なく除雪が助かりました。

一八日、オルガニストの白藤久枝さんが、僅か一週間余りの入院で神様の御許に召されました。二二日通夜式、二二日の葬送式、吉野司祭、大町司祭の司式により悲しみのお別れを近親者で行いました。久枝さんは毎主日、礼拝一時間前に礼拝堂のストロブ点火・聖餐式の準備の奉仕をして下さいました。六〇歳の生涯でした。

▽今金インマヌエル教会

一月一二日に総会のための準備、打ち合わせの後、顕現

後第一主日、主イエス洗礼の日の礼拝を守る。

一月二七日に天沼修嗣兄弟が九一歳で天に召されました。この教会の軸となり長い間支えていただいた重鎮を失ってしまいました。今になつてまだまだ聞いておきたかった、聞いておかなければならなかった事がたくさんあったのですが…。これから

は現役でおられる先輩方と共に、そして私達の世代が協力して、この教会と地域を守つてゆかなくてはと思つています。

▽紋別聖マリヤ教会

いつになく穏やかな新年を迎えました。昨年度の選挙で教会委員が一部改選され、信徒総会では、会計の岡村姉が今回で勇退を発表。長年のご奉仕に感謝すると共に新体制での役割を確認しました。また、少ない信徒なので、全員が共通理解のもとに様々な奉仕ができるように、阿部司祭からオルターギルドの学習会をして頂くことになりました

た。幼稚園では一六日、三期の始業式。雪不足で所どころに土が見える園庭でも、元気いっぱい走り回る子どもたちの姿があります。

▽北見聖ヤコブ教会

一月は雪が少なく助かっています。今後はどうなるか自然におまかせです。

飯野司祭は二九日入院、三一日人工肛門の閉鎖手術。神様の癒しと沢山の方の祈りに支えられ、最後の手術になりそうです。感謝。

今年の総会は二月一六日になり、諸準備と信徒一人一人の健康が日々守られ、必要が満たされますように祈りつつ、お互いはげまし合いながら主の教会を守っております。主が北見聖ヤコブ教会の上に豊かな祝福を与えて下さいますように。アーメン

▽深川聖三一教会

一月一日主イエスの命名日の礼拝。天変地異の時代を天の祝福へと祈る。

六日保育園の仕事始め。園児は主イエス様の子ども、今

年もお守りください。もみじの葉のようなかわいい子どもを手を合わせて祈っております。一九日新旧合同委員会、総会案を作成する。二二日ポニフェス寺岡義人さん逝去され、家族葬で天国へ送られる。魂の平安をお祈り致します。

▽聖マーガレット協会

一月一九日(日) 顕現後第二主日。前日、ヨルダンで行われた首座主教会議から帰られたばかりの植松主教様の巡回日。聖餐の恵み、み言葉の慰めを受ける。首座主教会議の最終プログラムは、主イエスが洗礼者ヨハネから洗礼をお受けになったヨルダン川ほとりでの黙想。そしてバスで移動しモーセが最期を迎えたネボ山頂での黙想。主様はモーセと自らの歩みを重ね神の希望を、神の約束に生き死ぬことへの恵みを、語ってくださいました。主に従うことの誠実

を新たな思いで聴く。

▽苦小牧聖ルカ教会
今年はずっと暖かく、雪の少ない苦小牧です。園庭に雪がほとんどなく、子どもたちが遊ぶのにも一苦勞。

二〇二〇年は元旦礼拝からスタート。吉野司祭手製のお節を囲んで交わりのひと時。

幼保連携型認定こども園になった聖ルカ幼稚園は四日からスタート。子どもたちが元気に登園してきています。

二六日に堅信受領者総会が行われました。礼拝堂の寒さ対策として、礼拝堂と集会室を土足にすることにしました。足元の寒さが軽減されますように。

